

企 画 展

仙台の祭り と 年中行事



2016年
7月2日^土~11月6日^日

公益財団法人 仙台市市民文化事業団
仙台市歴史民俗資料館
Sendai City Museum of History and Folklore

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7(榴岡公園内)
Tel:022-295-3956 FAX:022-257-6401
ホームページ: <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/>
E-mail: folk muse@deluxe.ocn.ne.jp

【開館時間】午前9時~午後4時45分
(入館は午後4時15分まで)
【休館日】毎週月曜日(休日を除く)、
休日の翌日(土、日、休日を除く)、
毎月第4木曜日(12月をのぞく)
【入館料】一般・大学生 200円(160円)
高校生 150円(120円)
小・中学生 100円(80円)

※()は30名以上の団体料金
※「どこでもパスポート」を提示された小・中学生は無料になります。
※仙台市内の「豊齢手帳」「豊齢カード」をお持ちの方は無料になります。

入館料改定のお知らせ
平成28年10月1日より、入館料が下記のとおり変わります。

		10月1日より
通常料金	一般・大学生	240円
	高校生	180円
	小・中学生	120円
団体料金	一般・大学生	190円
	高校生	140円
	小・中学生	90円

れきみん 検索

企画展 仙台の祭り・年中行事

2016年7月2日(土)～11月6日(日)

企画展では、正月と七夕・盆などの祭りや年中行事や、神像、御札、籠神など家で祀る神々、また山・鉾・屋台などをともなう都市の祭礼と芸能、さらには農耕儀礼における魔除け、害除け、託宣の行事など、さまざまな仙台地方の祭りや年中行事の移り変わりについて、地域の人々の祈りと暮らしの視点から考えていきます。

展示解説・講座・行事のご案内

展示解説 日 時 7月3日(日)・7月10日(日) 11:00～14:00～

講座 仙台の祭りや年中行事①
「仙台の祭りや年中行事の移り変わり」
日 時 7月2日(土) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

仙台の祭りや年中行事②
「誰が藩祖伊達政宗を祀るのか」
日 時 7月9日(土) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

仙台の祭りや年中行事③
「仙台の正月と七夕・盆行事」
日 時 7月16日(土) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

仙台の祭りや年中行事④
「近代仙台の渡物(山鉾)の要遷」
～東照宮祭礼から仙台・青葉まつりまで～
日 時 9月10日(土) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

仙台の祭りや年中行事⑤
「仙台の祭りや芸能 田端踊を中心に」
日 時 9月17日(土) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

仙台の祭りや年中行事⑥
「仙台の正月飾りと切り紙 おかざり・きりこ・さざみもの」
日 時 11月6日(日) 13:30～15:00
講 師 当館学芸員

※いずれの講座・行事も参加自由(ただし入館料はかかります)、会場は仙台市歴史民俗資料館

このほかにも会期中には、7月22日(金)には子ども講座「紙芝居「青い目の人形ものがたり」(11:00、14:00)、7月29日(金)には子ども講座「紙芝居「僕たちの学童集団疎開」「願いを七夕に一仙台空襲物語」他(11:00、14:00)、8月6日(土)には朗読公演「つつみのおひなこ・仙台空襲物語」を上演します。7月30日(土)・8月13日(土)・10月10日(月・祝)の「たんけん資料館」(11:00、14:00)では当館収蔵庫を公開します。10月15日(土)には第9回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」(10:00～11:30、13:30～15:00、10月22日(土)・11月3日(木・祝)には「れきみん秋祭り2016」を開催します。

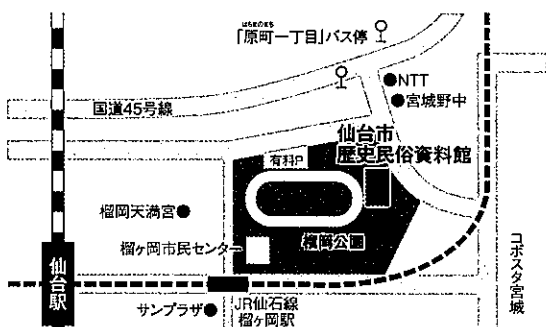
次回 特別展

「仙台・昔と今の暮らし」(仮)

2016年11月19日(土)～2017年4月16日(日)

交通案内

- JRの場合:仙石線榴ヶ岡駅下車徒歩約5分
- 徒歩の場合:仙台駅東口から徒歩約25分
- バスの場合:仙台駅西口青葉通三井住友信託銀行前付近・市営バス50番、51番乗場から乗車、原町1丁目下車、徒歩約7分
- ※自家用車の方は公園駐車場(50台、有料)をご利用下さい。



荒浜磯獅子踊の鹿頭

荒浜磯獅子踊は、仙台市若林区荒浜に伝承されていた郷土芸能だった。一人立ちで籠鼓(かっこ)をつけた8頭立ての鹿踊(ししどり)で、旧暦7月7日には集落をめぐった。大正11年(1922)8月に荒浜で踊ったのを最後に行われなくなった。



明治43年(1910)
絵葉書「(仙台)新横丁
芸妓屋通「七夕の賑」」
絵葉書の裏には明治43年8月16日の消印があり、明治43年発行と見られる。年代のわかる仙台七夕祭の絵葉書では最も古いものになる。仙台七夕祭は、明治42年までは旧暦7月6日・7日に行われ、明治43年からは旧暦七夕に加え、1か月遅れの新暦8月6日・7日の七夕祭も始まった。



昭和29年(1954)
8月6日・7日・8日
仙台七夕祭ポスター
戦後の七夕祭は、昭和21年(1946)8月6日・7日に10年ぶりに復活した。また昭和天皇が昭和22年8月5日・6日に仙台方面に行幸(きょうこう)したことがきっかけで8月5日・6日・7日の3日間の七夕祭が開催された。昭和25年は水害のために8月11日・12日・13日に延期され、昭和29年からは8月6日・7日・8日に七夕祭が開催されるようになり、現在にいたっている。



明治4年(1871)
天長節祭礼絵図・渡物
「中納言行平卿須磨の浦にて汐汲を見給う体」
(仙台河原町)

仙台藩時代の東照宮祭礼の渡物(わたしもの、山・鉾・屋台)が、明治天皇の誕生日である明治4年9月22日の天長節祭礼のときに復活し24台が練り出し、その祭礼絵図が製作販売された。これは能「松風」、歌舞伎舞踊(かぶきぶよう)「汐汲(しおくみ)」などを題材にしたもので、仙台の河原町から出された。

※このチラシはリサイクルできます。

